

都市再生整備計画

あかしなえきしゅうへん
明科駅周辺地区

ながの ながの
長野県 あづみのし だい かいへんこう
安曇野市(第6回変更)

令和5年1月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	長野県	市町村名	安曇野市	地区名	明科駅周辺地区	面積	68	ha
-------	-----	------	------	-----	---------	----	----	----

計画期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度	交付期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度
------	--------------------	------	--------------------

目標

- 大目標：明科の地域特性を活用し、安曇野市の東の玄関口としての魅力向上を図る。
 目標1：明科駅前を再整備し、交通結節点の機能向上による地域の活性化を目指す。
 目標2：国道19号を中心に、安全・安心・快適な歩行空間を整備し、歩いて生活できるコンパクトなまちを形成する。
 目標3：明科が持つ豊富な自然環境を有効活用し、交流人口の増加を図る。

目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針)を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。
 当市は、旧町村の中心を拠点とした既存市街地・集落周辺への集約重視のまちづくりを目指し、当市独自の土地利用制度の運用により開発を制限することで、拠点市街区域、準拠点市街区域、田園居住区域等に都市機能や居住を誘導している。土地利用制度により、建築行為が拠点・準拠点・田園居住区域にシフトしつつあるものの、大型小売店は拠点市街区域で増加している一方、旧来の中心市街地の商店街は衰退している。さらに、今後、人口減少の進展が予測され、商圏人口の減少による商業施設等の都市機能の縮小が懸念される。そのため、商業機能等の都市機能を5つの中心拠点に確保する。これにより、利便性を享受できる暮らしやすい環境を確保、中心拠点の賑わいを創出し、新たな産業や観光客を呼び込み商業・観光の振興と育成を図る。
 一方、市民の約4割が松本市等他市へ通勤している。市内の鉄道は松本市へ連絡しているが利用は少ない。そのため、松本市への通勤圏内としての魅力向上による子育て世代の流入促進、公共交通の利用促進による渋滞緩和及び公共交通の維持が課題である。
 そのため、中心拠点が相互に連携するよう拠点間を結ぶ公共交通軸を確保することで、必要に応じて都市機能を利用できる環境を目指す。また市内2路線の鉄道を維持・活用し、松本都市圏へもアクセスできる環境を確保する。
 公的不動産の活用策としては、公共施設の統廃合や複合化により用途廃止となる公的不動産について、新たな用途の公共施設の整備や民間事業者等への売却・賃付等により、引き続き都市機能の導入を図る。

まちづくりの経緯及び現況

当該計画区域が位置する明科地域は、国道19号及びJR篠ノ井線を中心に、駅、市役所、学校、保育園等の各種公共施設および一般住宅が立地するコンパクトな市街地である。
 国道19号については、市街地であるものの歩道が整備されておらず、地元からは、合併前から歩道整備および歩道整備と合わせた駅周辺整備の要望が強かった。
 平成23年6月に「国道周辺整備対策委員会」が地元住民により設立され、国道19号沿線225名の署名を添えて、市へ歩道整備の要望を行った。
 平成24年8月に上記委員会を発展させ、市がオブザーバーとして参加する「歩道整備委員会」を設立し、同年11月に長野国道事務所、平成25年11月に関東地方整備局へ要望を行い、定期的に総会、役員会を開催している。
 平成26年に国道19号の拡幅・歩道設置が事業化されたことを受け、平成27年10月に地元商店街を中心として、今後のまちづくりを考える「明科駅前まちづくり委員会」を設立し、国道19号の拡幅・歩道設置後の具体的なまちづくりについて検討を行っている。
 市では、平成28年2月から平成29年2月までの1年をかけて、計6回の住民懇談会を開催し、駅周辺のまちづくりのあり方をまとめた「明科駅周辺まちづくり計画」を策定した。
 当該計画で定めたまちづくりのテーマである「明科が持つ自然や産業を活用し、みんなが安全に暮らせるまち」を目指し、コンパクト、安全、自然に着目し、安曇野市の東の玄関口にふさわしいまちの形成を目指す。

課題

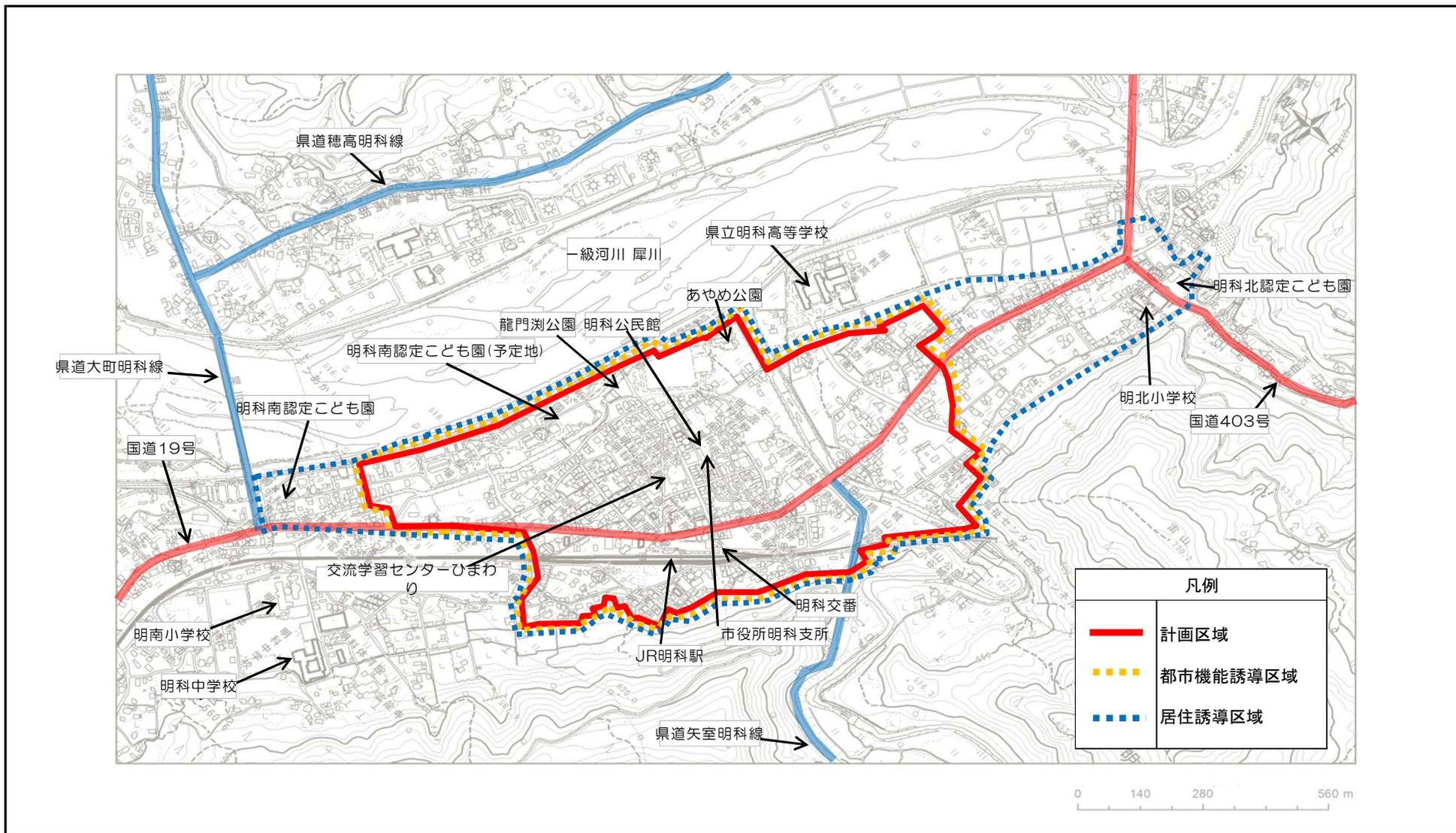
- 歩行空間：安全・安心・快適な歩ける空間の整備
- 駅前広場：公共交通の利便性向上、バリアフリー化、効率的な施設配置と分かり易さの向上
- 駐車場・周辺道路：狭い道路幅員の解消、交差点の安全性向上、利便性の高い駐車場配置・整備
- 駅利用促進(観光)：周辺観光施設の有効活用、案内板、情報板の整備、観光施設等のアピール(観光情報発信)
- 商店街(賑わい)：商業集積の弱まり(商店の減少)、商業施設の魅力低下
- 街なみ(景観)：空家、空店舗の増加、明科らしさの創出、明科の特色を活かす

将来ビジョン(中長期)

- 安曇野市総合計画：北アルプスに生まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野
- 安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略：2040(H52)年度 人口8,300人の田園産業都市 安曇野 の実現
- 国土利用計画：土地需要の量的調整、土地利用の質的向上、土地利用の総合的なマネジメント、新たな公共の担い手との連携・協働の促進
- 安曇野市都市計画マスタープラン：山岳と田園が育むよさを大切にし、暮らしやすさをみんなで共用できるまち
- 安曇野市土地利用基本計画：豊かな自然環境や景観、歴史・文化を守り、暮らしやすさと産業発展のバランスがとれた田園産業都市づくり

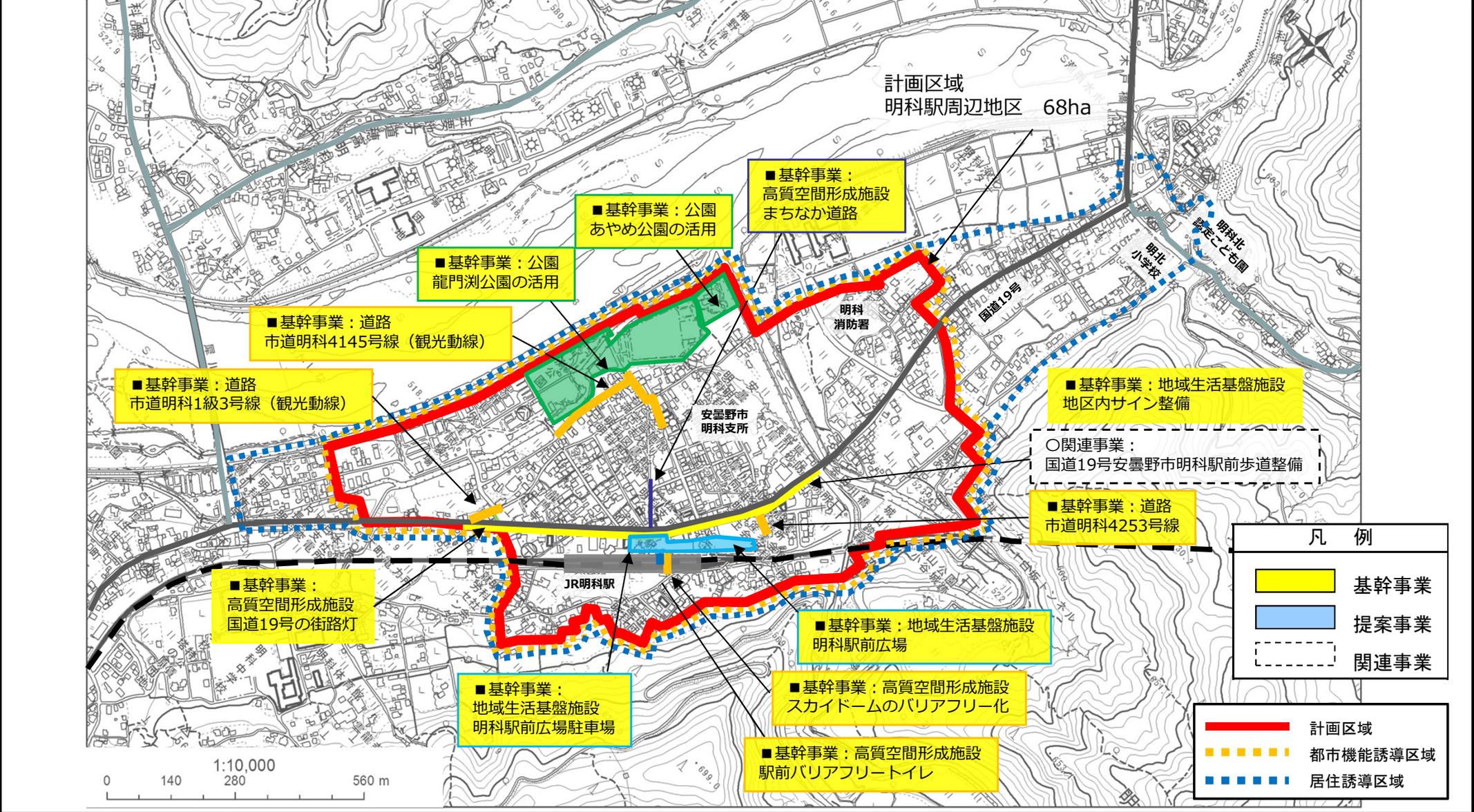
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【目標1：明科駅前を再整備し、交通結節点の機能向上による地域の活性化を目指す。】 利用者数が年間70万人以上と、市内11駅のうち2番目に多く利用されている駅を有効に活用するために、交通結節点の機能向上のための事業を行う。</p>	<p>地域生活基盤施設(広場)：明科駅前広場 地域生活基盤施設(駐車場)：明科駅前広場駐車場 高質空間形成施設(障害者誘導施設等)：駅前バリアフリートイレ</p>
<p>【目標2：国道19号を中心に、安全・安心・快適な歩行空間を整備し、歩いて生活できるコンパクトなまちを形成する。】 国の事業に合わせた街路灯整備や自由通路の再整備など、既存事業・既存施設を有効に活用するための事業を行う。</p>	<p>道路：市道明科4145号線(観光動線) 道路：市道明科1級3号線(観光動線) 道路：市道明科4253号線 高質空間形成施設(緑化施設等)：国道19号の街路灯 高質空間形成施設(歩行支援施設)：スカイドームのバリアフリー化 高質空間形成施設(緑化施設等)：まちなか道路</p>
<p>【目標3：明科が持つ豊富な自然環境を有効活用し、交流人口の増加を図る。】 リオ五輪のカヌー競技で、日本人初・アジア人初のメダルを獲得した羽根田卓也選手が練習を行い、自身の名前を冠した大会「ハネタクカップ」が開催され、全国的に注目されている公園について、メダリストを生んだ公園としてふさわしい環境整備を行う。</p>	<p>公園：龍門淵公園の活用 公園：あやめ公園の活用 地域生活基盤施設(情報板)：観光サイン</p>
<p>その他</p>	
<p>(1)明科駅周辺まちづくり計画 国道19号の拡幅・歩道設置を契機としたまちづくりを行うため、1年間をかけて6回の住民懇談会を開催し、明科駅周辺まちづくり計画としてまとめた。 【第1回】平成28年 2月17日(明科の現状、強み・弱みなど) 【第2回】平成28年 4月27日(望ましい明科のあり方について) 【第3回】平成28年 6月30日(駅前広場、駐車場周辺道路、商店街) 【第4回】平成28年 9月 2日(歩道空間、駅利用促進、街並み) 【第5回】平成28年12月 1日(全体についての意見聴取) 【第6回】平成29年 2月 1日(まとめの報告)</p> <p>(2)景観づくり住民協定 地域住民が、景観づくりのために一定の区域の建築物の形態、デザイン、緑化、屋外広告物などについて自主的なルールを定め、景観を守り育てるための協定で、上記計画の策定を受け、これまで取り組みのなかった明科駅前について、市との協定締結を行った。</p> <p>【官民連携事業】 ※都市再生整備計画区域内で、道路占有特例、河川敷地占有、歩行者経路協定、都市利便増進協定を活用する場合には記載する。</p>	

明科駅周辺地区(長野県安曇野市)	面積	68 ha	区域	長野県安曇野市明科中川手
------------------	----	-------	----	--------------



アカシナ アツミノ
明科駅周辺地区(長野県安曇野市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	大目標 : 明科の地域特性を活用し、安曇野市の東の玄関口としての魅力向上を図る。	代表的な指標	計画区域内の人口密度 (人/ha)	7.28 (H27年度)	→	7.28 (R4年度)
	目標1: 明科駅前を再整備し、交通結節点の機能向上による地域の活性化を目指す。		国道19号明科駅前交差点歩行者数 (人/日)	366 (H24年度)	→	370 (R4年度)
	目標2: 国道19号を中心に、安全・安心・快適な歩行空間を整備し、歩いて生活できるコンパクトなまちを形成する。		あやめまつりの参加者数 (人)	40,000 (H28年度)	→	50,000 (R4年度)
	目標3: 明科が持つ豊富な自然環境を有効活用し、交流人口の増加を図る。					



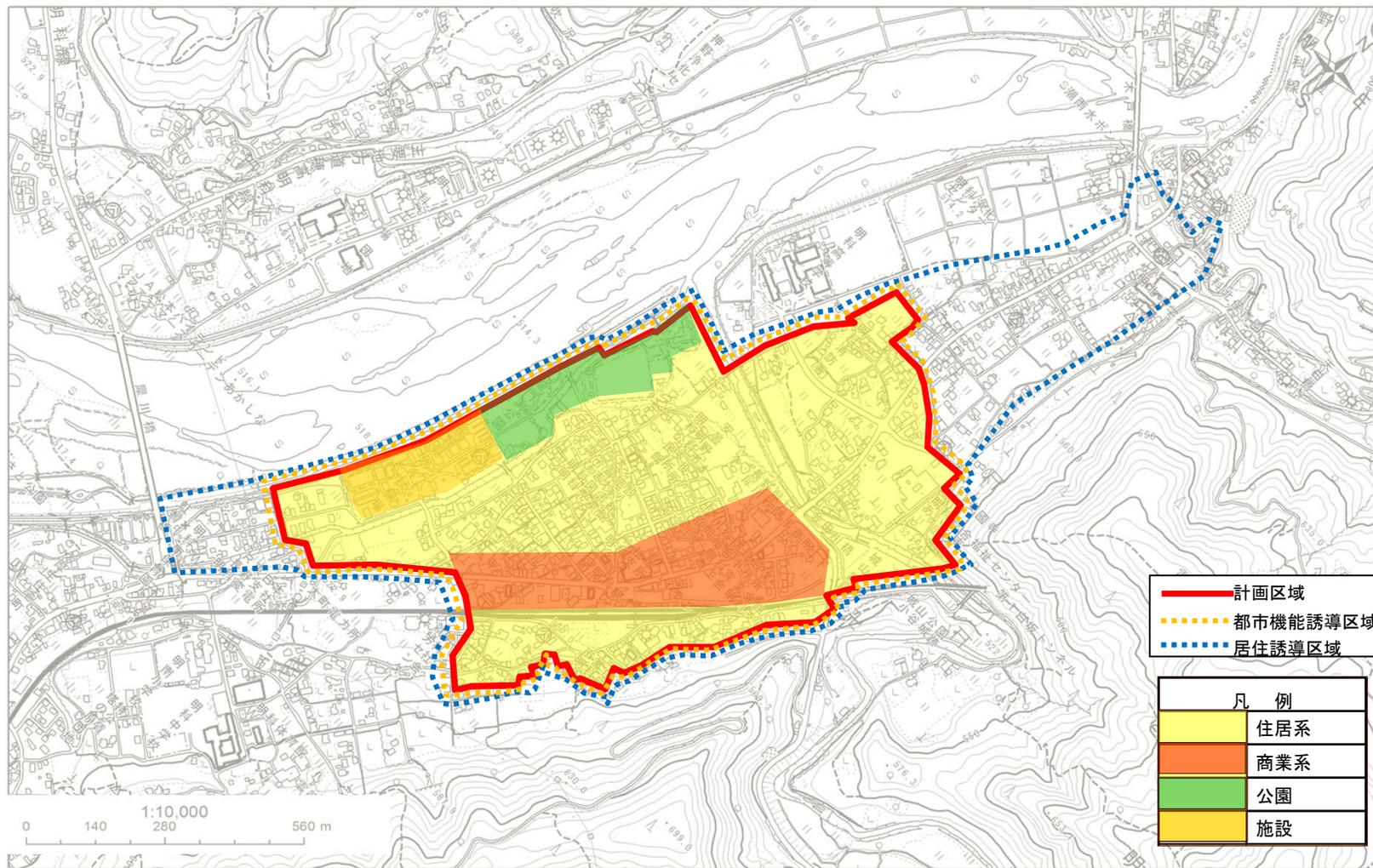
都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

あかしな えき しゅうへん ちく
明科駅周辺地区

ながの あづみの し
(長野県安曇野市)

明科駅周辺地区(長野県安曇野市) 現況図



交付限度額算定表(その1)

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額の合計(X)	720.0 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	4,995.0 百万円	X ≤ Yゆえ、本計画における交付限度額	720.0 百万円
-----------------------------	-----------	-----------------------	-------------	----------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au 272,000 m²

公共施設の上限整備水準

区域面積(m ²)	680,000
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	
○ 区域の面積が10ha未満の地区	0.50
○ 最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
○ その他の地域	0.40

Ci 39,800 円/m²

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	2
公示価格の平均値(円/m ²)	39,800

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf 23,000 円/m²

控除額 0 百万円

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

Ap 112,900 m²

公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m ²)	0

個別公共施設の積み上げ

	面積(m ²)	割合
道路	76,300	0.11
公園	36,600	0.05
広場	-	-
緑地	-	-
公共施設合計	112,900	0.17

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1) 4995 百万円

ΣCn 0 円

下水道

区域面積(m ²)	680,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物) 0 円

上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	419,800

調整池 0 円

調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川 0 円

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設 0 円

建設予定戸数(戸)			
	超高層		
	一般		
	合計		0
標準整備費(円/戸)		超高層	一般
	北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
	特別地区	49,120,000	35,690,000
	大都市地区	37,170,000	30,180,000
	多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
	奄美地区	39,520,000	35,640,000
	沖縄地区	30,280,000	30,280,000
	一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物 0 円

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等 0 円

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤 0 円

人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等 0 円

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2) 4995 百万円

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額(活用する交付金の欄のみご記載ください。)

<都市構造再編集中支援事業>

交付限度額(X1)	720.0 百万円
-----------	-----------

<都市再生整備計画事業>

交付限度額(X2)	百万円
-----------	-----

<まちなかウォークアブル推進事業>

交付限度額(X3)	百万円
-----------	-----

交付限度額算定表(その2)(都市構造再編集中支援事業)

様式(2)-④-1

【都市再生整備計画事業(都市再構築戦略事業を含む。)から都市構造再編集中支援事業へ移行する地区の場合】

※本シートについて、各自治体が交付限度額を算出する上での参考として添付しているものです。事業毎に状況が異なりますので、各自治体の責任において適切に交付限度額を算出するようお願いいたします。

交付要綱に掲げる式による限度額算定(詳細)

○ 交付対象事業費

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(事業費の単位:百万円)

本都市再生整備計画において活用した事業に「○」をご選択ください。

<input type="checkbox"/>	都市再生整備計画事業(通常)
<input checked="" type="checkbox"/>	都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)
<input type="checkbox"/>	都市再構築戦略事業

<都市再生整備計画事業(通常)の国費率、執行事業費> ※都市再生整備計画事業(通常)を活用した場合のみ記入

国費率(変更提出日の前日における交付限度額を交付対象事業費で除した値)		①	(国費率)
変更提出日の前日までの執行事業費		②	(事業費)

※都市再生整備計画事業(通常)から都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)に移行した場合、「変更提出日の前日」を「計画認定日の属する年度の年度末」に読み替え。

※都市再生整備計画事業(通常)から都市再構築戦略事業に移行した場合、「変更提出日の前日までの執行事業費」を「変更提出日の属する年度の年度末までの執行事業費」に読み替え。

<都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)の国費率、執行事業費> ※都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)を活用した場合のみ記入

国費率(変更提出日の前日における交付限度額を交付対象事業費で除した値)	0.450	③	(国費率)
変更提出日の前日までの執行事業費	1,105.500	④	(事業費)

※都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)から都市再構築戦略事業に移行した場合、「変更提出日の前日までの執行事業費」を「変更提出日の属する年度の年度末までの執行事業費」に読み替え。

<都市再構築戦略事業の国費率、執行事業費> ※都市再構築戦略事業を活用した場合のみ記入

国費率(変更提出日の前日における交付限度額を交付対象事業費で除した値)		⑤	(国費率)
変更提出日の前日までの執行事業費		⑥	(事業費)

<都市構造再編集中支援事業の国費率、執行事業費>

<都市機能誘導区域内>

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	1,600.000	⑦	(事業費)
	提案事業合計(B)		⑧	(事業費)
	合計(A+B)	1,600.000		(事業費)

以下の2つの条件それぞれについて、該当する場合は○を入力。

都市機能誘導区域面積割合が50%以上の場合	<input type="checkbox"/>
提案事業枠2割拡充の適用	<input type="checkbox"/>

※都市機能誘導区域面積割合:都市機能誘導区域の面積の市街化区域等(市街化区域又は非線引き用途地域)の面積に占める割合。

<都市機能誘導区域外>

交付対象事業費	基幹事業合計(C)	0.000	⑨	(事業費)
	提案事業合計(D)	0.000	⑩	(事業費)
	合計(C+D)	0.000		(事業費)

$(10/10 \times (A+B)) + (9/10 \times (C+D))$ ($\alpha 1$)		
※都市機能誘導区域面積割合が50%以上の場合:	1,440.000	⑫
$(9/10 \times (A+B)) + (9/10 \times (C+D))$		
$(10/9 \times (A+C))$ ($\alpha 2$)		
※提案事業2割拡充を適用する場合:	1,777.778	⑬
$(10/8 \times (A+C))$		
交付要綱に基づく交付限度額(①、②の小さい方 $\times 1/2$)	720.000	⑭ (国費)
国費率(③ \div (A+B+C+D))	0.450	⑮ (国費率)

変更提出日以降の執行事業費の総額	494.500	⑪	(事業費)
------------------	---------	---	-------

交付限度額(① \times ②+③ \times ④+⑤ \times ⑥+⑪ \times ⑮)	720.000	⑯ (国費)
--	---------	--------

○ 交付限度額、国費率

交付対象事業費(A+B+C+D)	1,600.0	(事業費)
------------------	---------	-------

交付要綱に基づく交付限度額 (⑯を1万円の位を切り捨て)	720.0	⑰ (国費)
国費率	0.450	⑱ (国費率)

(参考) 交付限度額算定表(都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの))

※本シートについて、各自治体が交付限度額を算出する上での参考として添付しているものです。事業毎に状況が異なりますので、各自治体の責任において適切に交付限度額を算出するようお願いいたします。

交付要綱に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(事業費の単位:百万円)

○交付対象事業費(必ず入力)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	1,600.000	A (事業費)	4)式で求まる額(4.5/10*(A+B))	720.000	① (国費)
	提案事業合計(B)		B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	888.889	② (国費)
	合計(A+B)	1,600.000	(事業費)	上記①、②の小さい方	720.000	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.000		国費率(③÷(A+B))	0.450	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の拡充がある場合は、該当する欄に○を入力。

・3)式の適用[提案事業枠2割拡充]		(選択)	⇒ 3)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
--------------------	--	------	-------------------	-------	--------

○交付限度額、国費率

交付限度額	720.000	⑥ (国費)
国費率	0.450	⑦ (国費率)

年次計画(都市構造再編集中支援事業)

様式(2)-⑤-1
(事業費:百万円)

基幹事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業	細項目								
道路		市道明科4145号線(観光動線)	安曇野市	255.1	15.9	55.5	97.8	39.9	46.0
		市道明科1級3号線(観光動線)	安曇野市	243.3		57.7	77.6	15.0	93.0
		市道明科4253号線	安曇野市	31.9		2.9			29.0
公園		龍門淵公園の活用	安曇野市	91.2	6.2	31.5	53.5		
		あやめ公園の活用	安曇野市	40.8	3.2	22.5	15.1		
古都保存・緑地保全等事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設(広場)		明科駅前広場	安曇野市	548.5	49.2	14.9	19.8	251.6	213.0
地域生活基盤施設(駐車場)		明科駅前広場駐車場	安曇野市	14.5			9.5		5
地域生活基盤施設(情報板)		観光サイン	安曇野市	61.2		3.2			58.0
高質空間形成施設(緑化施設等)		国道19号の街路灯	安曇野市	78.3			9.8	18.0	50.5
		まちなか道路	安曇野市	188.7	5.7	140.3	26.3	16.4	
高質空間形成施設(歩行支援施設)		スカイドームのバリアフリー化	安曇野市	6.4	6.4				
高質空間形成施設(障害者誘導施設等)		駅前バリアフリートイレ	安曇野市	40.1			9.5	30.6	
高次都市施設	地域交流センター								
	観光交流センター								
	まちおこしセンター								
	子育て世代活動支援センター								
	複合交通センター								
誘導施設	医療施設								
	社会福祉施設								
	教育文化施設								
	子育て支援施設								
既存建造物活用事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				1,600.0	86.6	328.5	318.9	371.5	494.5
提案事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
地域創造 支援事業									
事業活用 調査									
まちづくり活動 推進事業									
計				0	0	0	0.0	0	0
合計				1,600.0	86.6	328.5	318.9	371.5	494.5
累計進捗率 (%)					5.4%	25.9%	45.9%	69.1%	100.0%

(参考)都市構造再編集支援事業関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
合計			0	0	0	0	0	0
累計進捗率 (%)				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	全体 事業費	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
国道19号安曇野市明科駅前歩道整備	国道19号明科駅前	国土交通省						
合計			0	0	0	0	0	0
累計進捗率 (%)				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 <small>注1)</small>	事業 主体	事業 手法 <small>注2)</small>	工種	延長 m	幅員		整備後 車線数 車線	歩道 幅員 m	まち交 事業費 百万円	まち交における 事業期間 (年度)	事業内容 <small>注3)</small>	都市計画 決定 年月	備 考 <small>注4)</small>
							整備前 m	整備 m							
<道路>				-											
市道明科4145号線 (観光動線)	明科支所～ 龍門洲公園他	地	安曇 野市	-	改良	400	5.0	7.5	2	2.5	255.1	H30～R4	道路改良、交差点改良 (設計・補償・用買・工事)	-	3種5級道路、1級市道 交通量500台/日
市道明科1級3号線 (観光動線)	国道19号～龍 門洲公園	地	安曇 野市	-	改良	100	5.0	9.8	2	2	243.3	H30～R4	道路改良、交差点改良 (設計・補償・用買・工事)	-	3種5級道路、1級市道 交通量500台/日
市道明科4253号線	国道19号～明 科駅前広場	地	安曇 野市	-	改良	80	5.9	7.5	2	0	31.9	R1～R4	道路改良、交差点改良 (設計・補償・用買・工事)	-	3種5級道路、1級市道 交通量500台/日
	～			-											
	～			-											

(参考)

<関連事業>															

* 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街:街路、地:地方道(市町村道)、国:国道、主:主要地方道、一:一般都道府県道、市:市町村道、他:いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

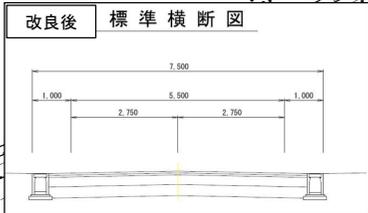
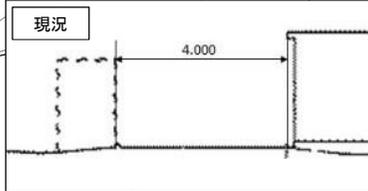
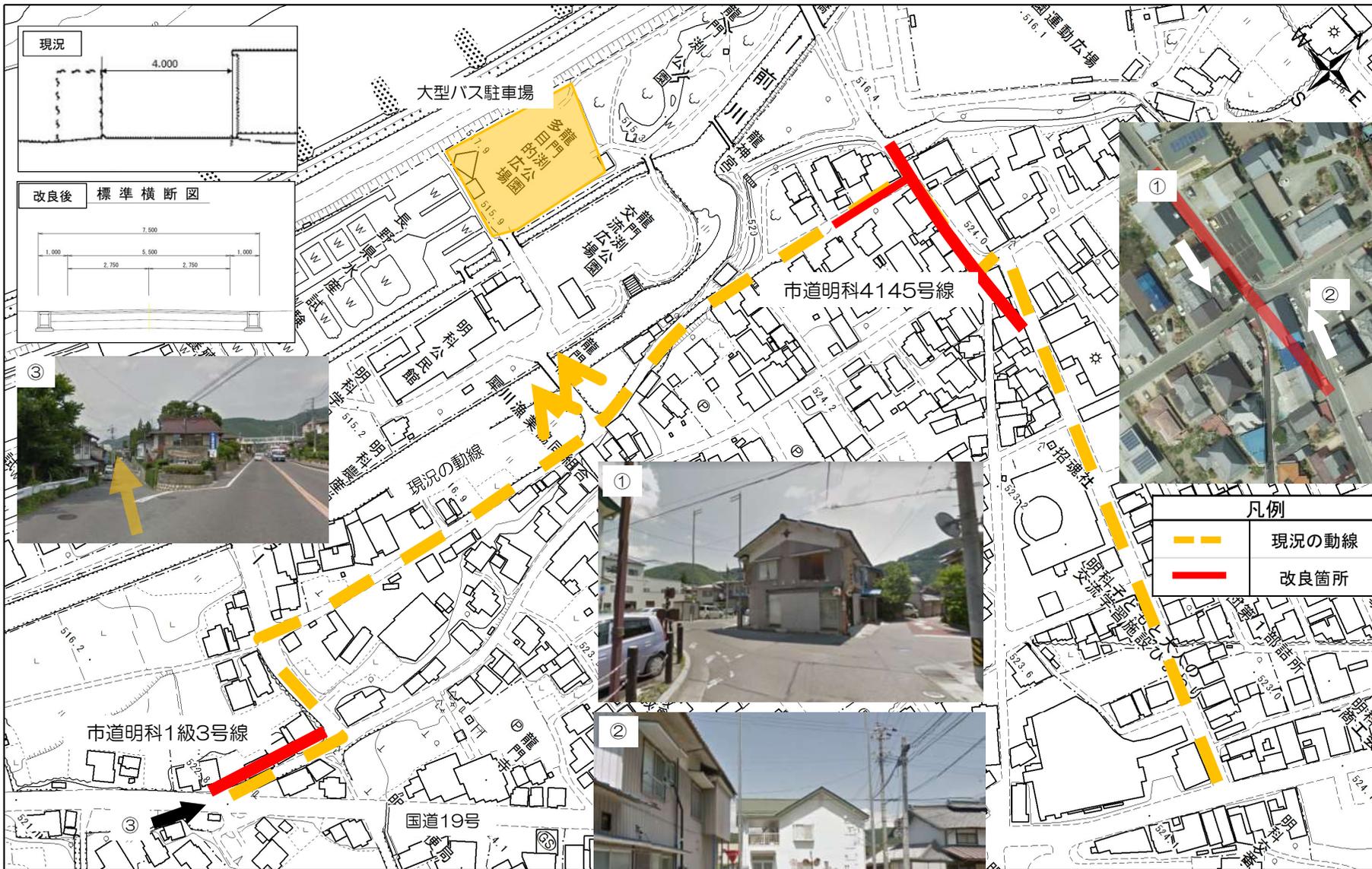
注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人/日)、混雑度等を記載

(例)・道路改築:交通量(人/日)、混雑度等

・自転車駐車場:都市計画決定の有無、面積、利用台数等

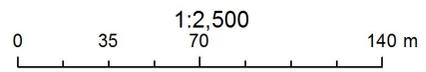
* 不足する場合は適宜行を追加すること

市道明科4145号線・市道明科1級3号線(観光動線)



凡例

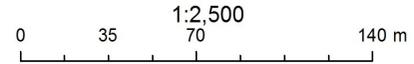
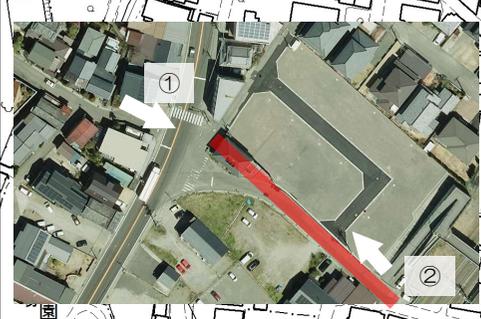
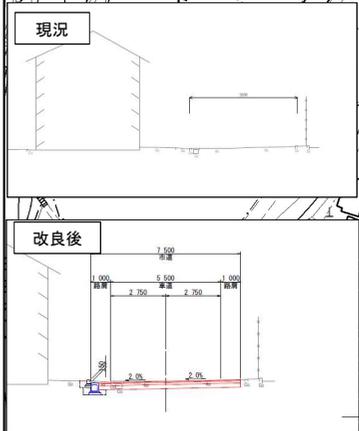
	現況の動線
	改良箇所



市道明科4253号線



凡例	
	現況の動線
	改良箇所



公園(都市公園補助事業採択要件外)

公園等名(*1)	種別等(*2)	事業主体(*3)	概要(面積(m ²)等) (*4)	交付期間内 事業費(百万円)	交付期間内事業費内訳			備考(*5)
					設計費 (百万円)	用地費 (百万円)	施設整備費 (百万円)	
龍門渕公園	近隣公園	安曇野市	36,000m ²	91.2	7.5		83.7	親水エリアの整備 シャワー施設の整備 トイレの改築
あやめ公園	無	安曇野市	条例設置公園 600m ²	40.8	3.8		37	園路整備 トイレのバリアフリー化
合計	—	—	—	132	11.3		120.7	—

*1 公園等名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。

*2 「種別等」欄には、都市公園の種別である「街区公園」、「近隣公園」、「地区公園」、「特定地区公園」、「総合公園」、「運動公園」、「動植物公園」、「歴史公園」、「広域公園」、「レクリエーション都市」、「風致公園」、「墓園」、「緩衝緑地」、「都市緑地」、「緑道」のいずれかを記入。

都市公園でない場合は「無」を記入し、「概要(面積等)」欄に制度上の位置付け(条例設置公園等)を簡潔に記載。

*3 「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)

*4 「概要(面積(m²)等)」欄には、都市公園でない場合に公園としての制度上の位置づけを記入する他、計画面積(単位: m²)等を記入すること。

*5 「備考」欄には整備する主な施設(園路、植栽、あずまや、体験学習施設等)を簡潔に記載。

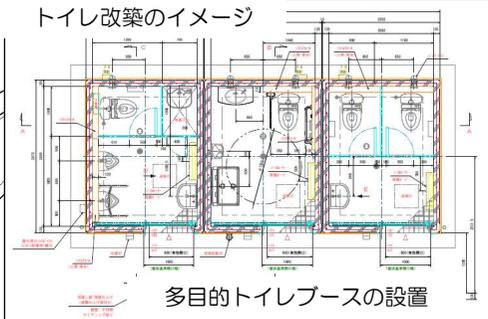
*6 青色で着色してあるセルは自動計算されるので入力しないこと。

りゅうもんぶちこうえん かつよろ
龍門瀨公園の活用

トイレの改築



トイレ改築のイメージ



前川での競技の様子 (羽根田選手)



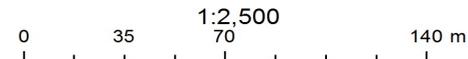
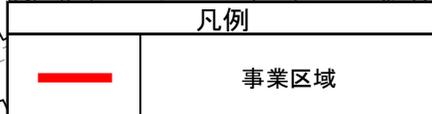
親水エリアの整備



シャワー施設の設置 (イメージ)



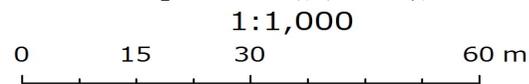
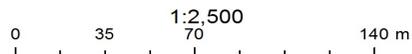
凡例



あやめ公園の活用



凡例	
	事業区域

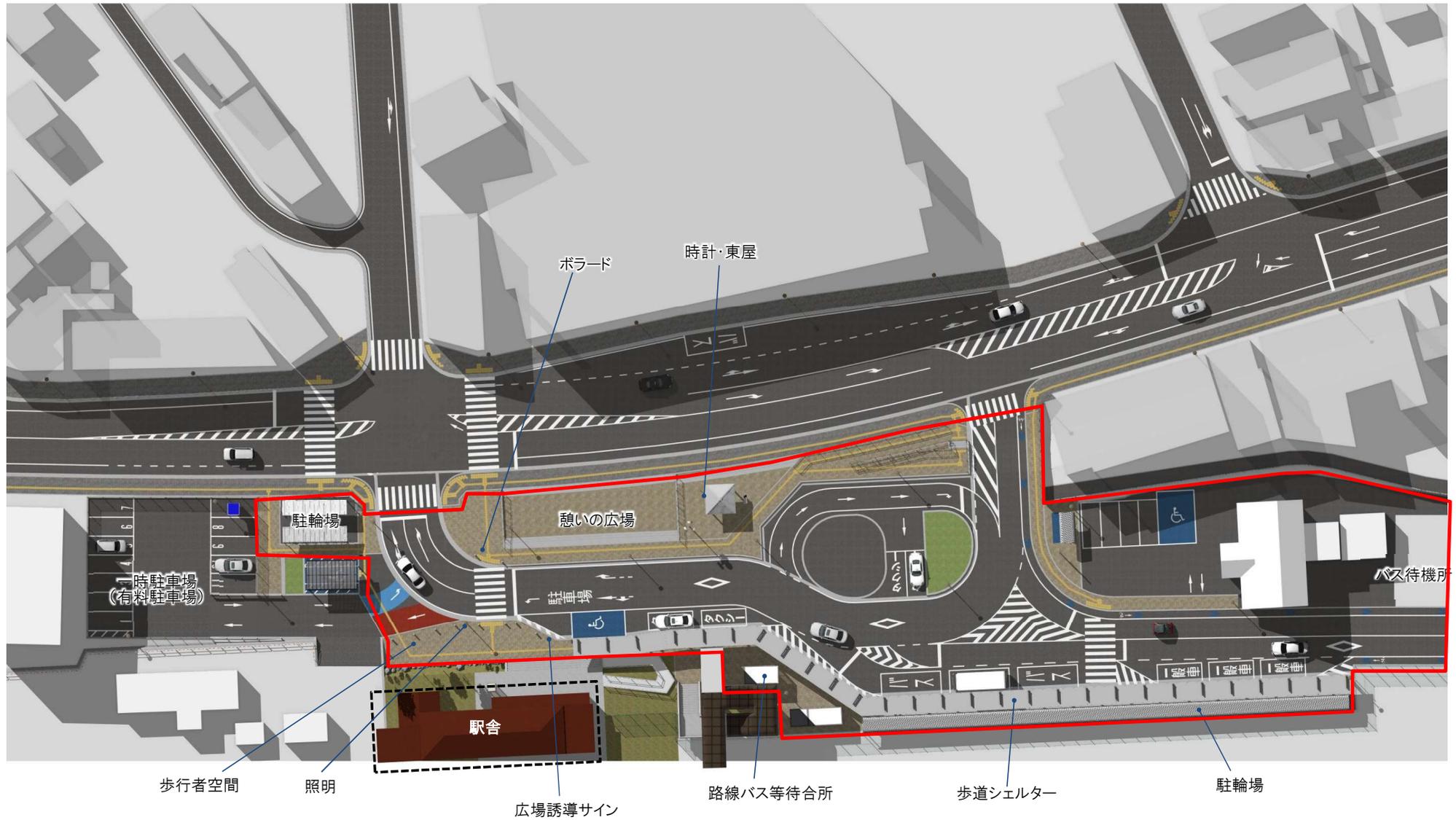


地域生活基盤施設

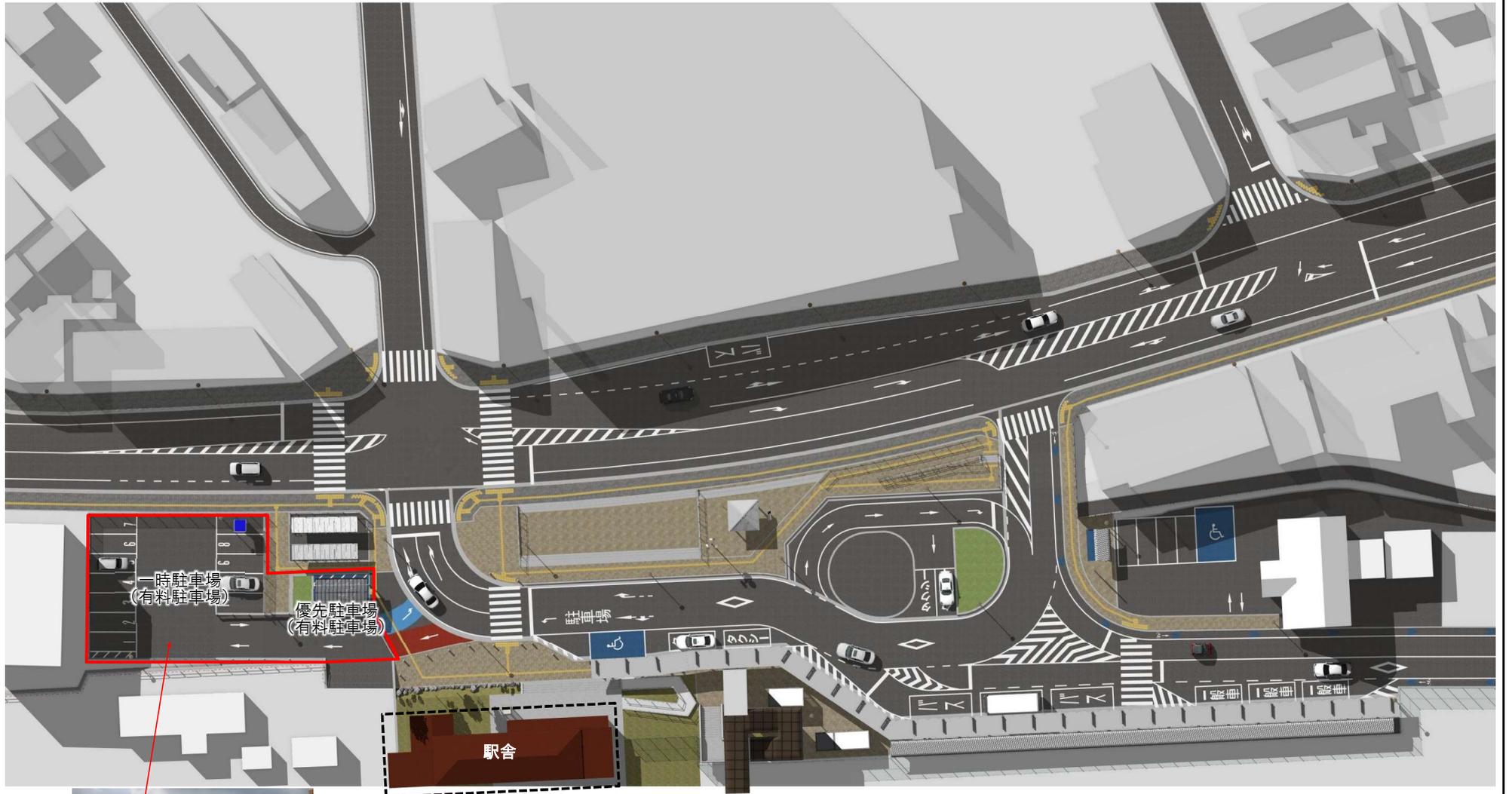
単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳				備考
					設計費	用地費	施設整備費	うち購入費	
広場	明科駅前広場	安曇野市	A=4,500㎡	548.5	33.9	54.5	460.1	—	
駐車場	明科駅前広場 駐車場	安曇野市	A=500㎡(平面駐車場11 台+優先駐車場1台)	58		0.4	57.6	—	
情報板	観光サイン	安曇野市	27箇所	61.2	7.2		54		
								—	
								—	
								—	
合計	—	—	—	667.7	41.1	54.9	571.7		

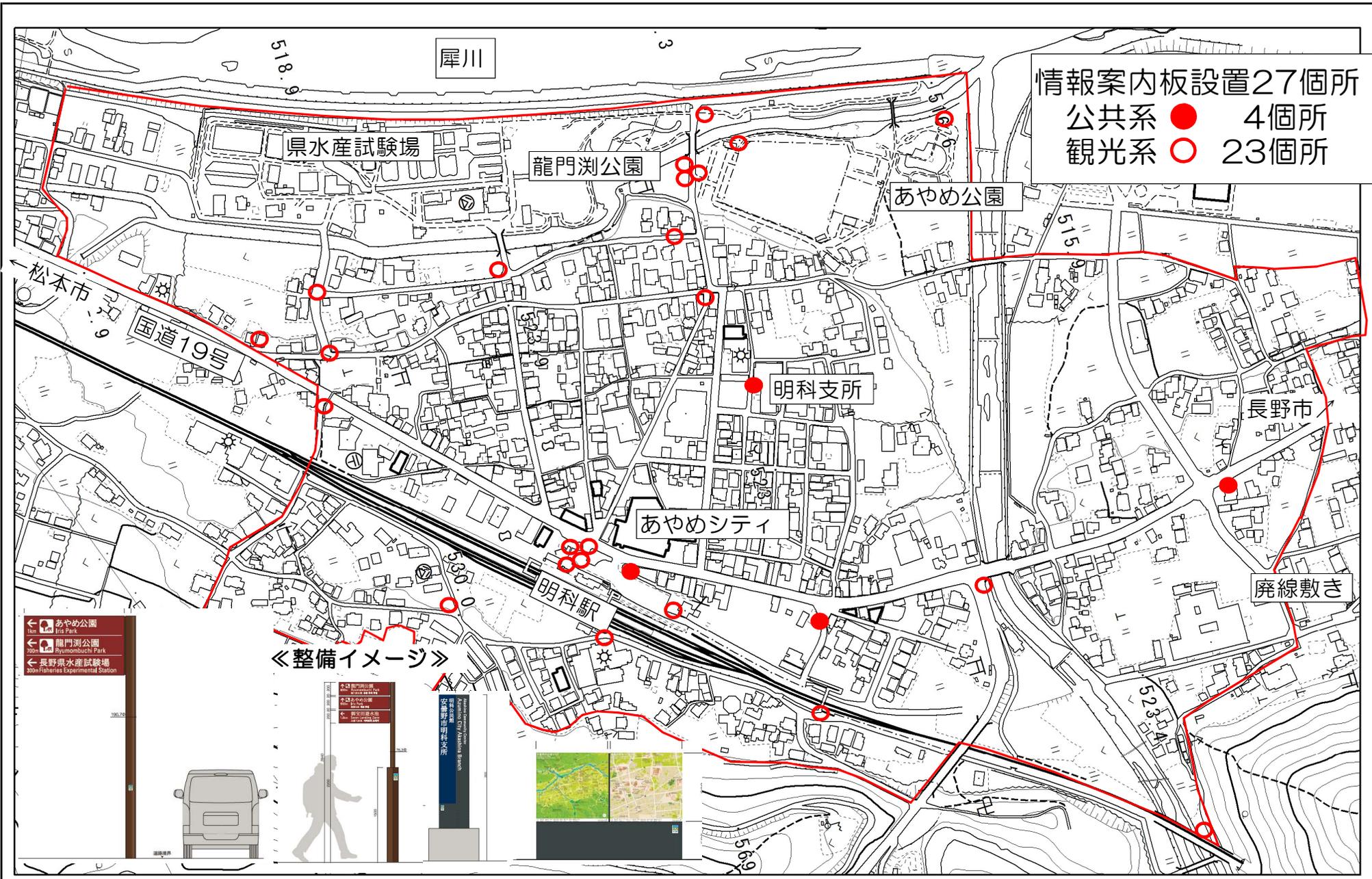
あかしなえきまへひろば
明科駅前広場



あかしなえきまえひろばちゆうしやじょう
明科駅前広場駐車場



観光サイン

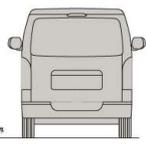


情報案内板設置27箇所

公共系 ● 4箇所

観光系 ○ 23箇所

《整備イメージ》

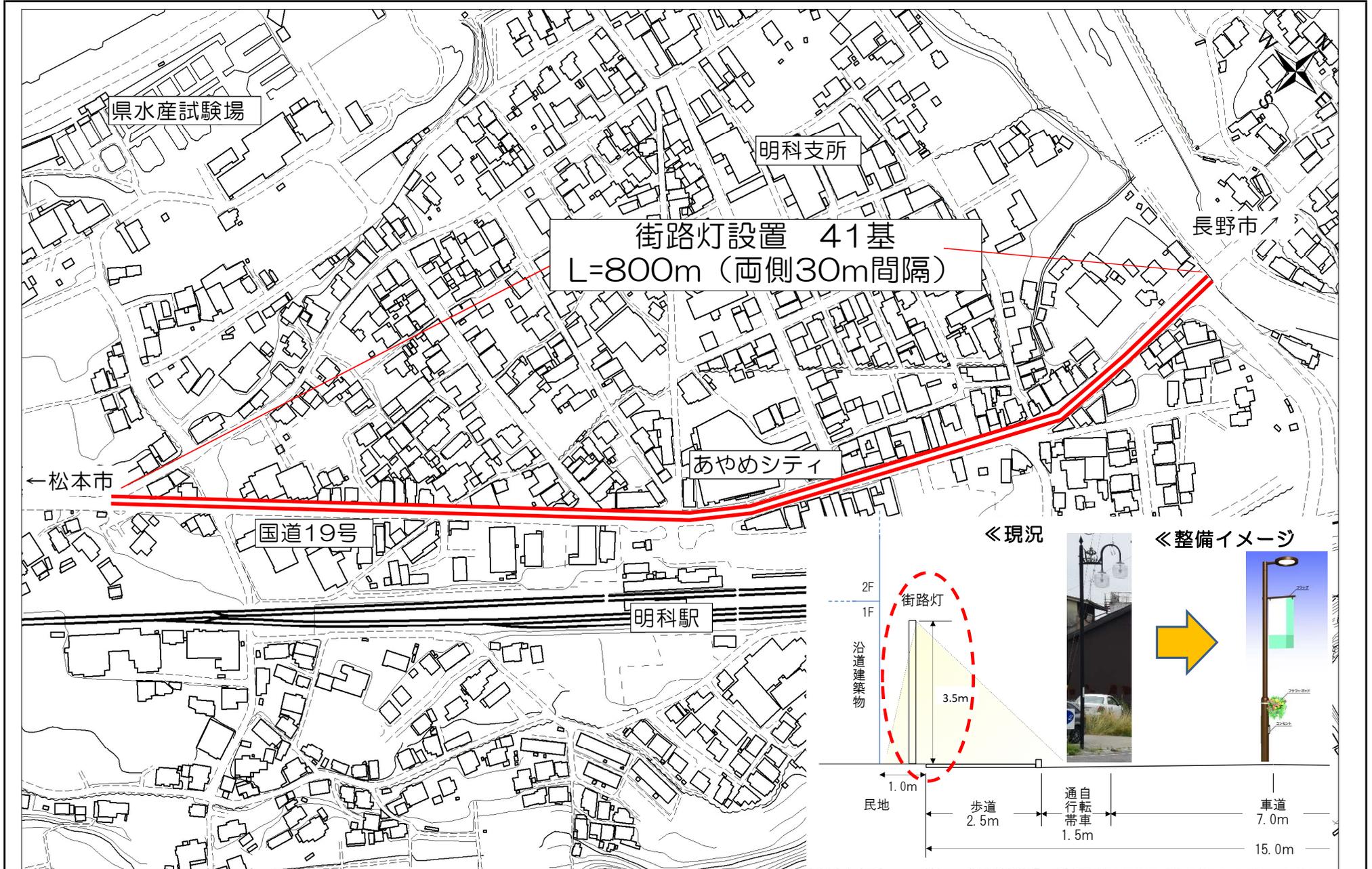


高質空間形成施設

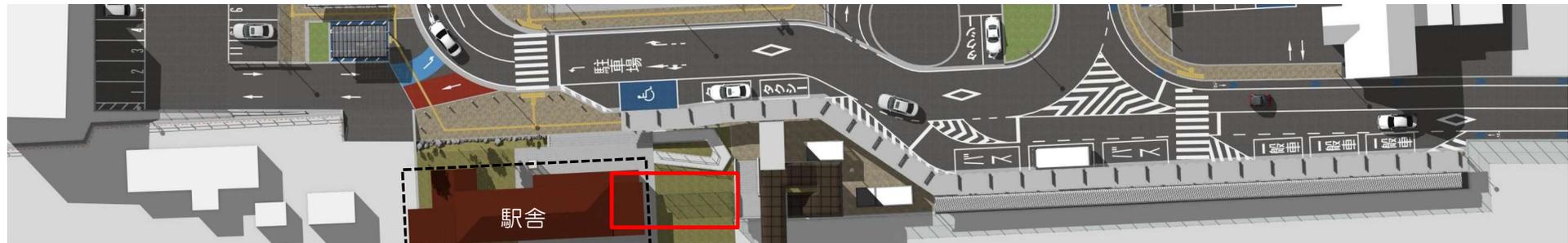
単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、給電・給排水施設、ストリートファニチャー・モニュメント、土塁、堀跡等)	国道19号の街路灯	安曇野市	L=800m	78.3	6.8		71.5	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、給電・給排水施設、ストリートファニチャー・モニュメント、土塁、堀跡等)	まちなか道路	安曇野市	L=115m	188.7	13.7	139	36	
歩行支援施設	スカイドームのバリアフリー化	安曇野市	1.0式	6.4	6.4			
障害者誘導施設等	駅前バリアフリートイレ	安曇野市	A=27㎡	40.1	5.2	8.4	26.5	
合計	—	—	—	313.5	32.1	147.4	134	

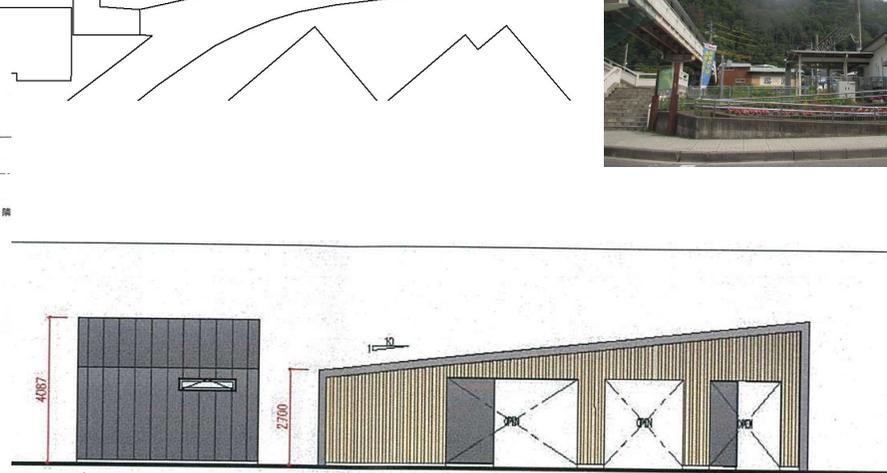
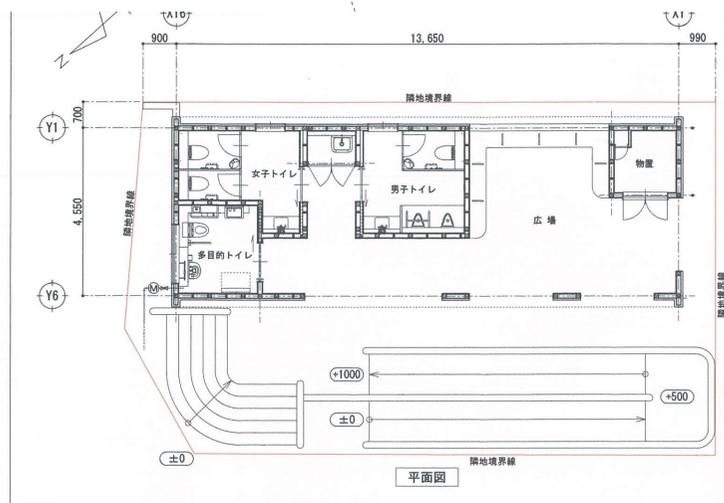
こくどうごう ちやうがいろとう
国道19号の街路灯



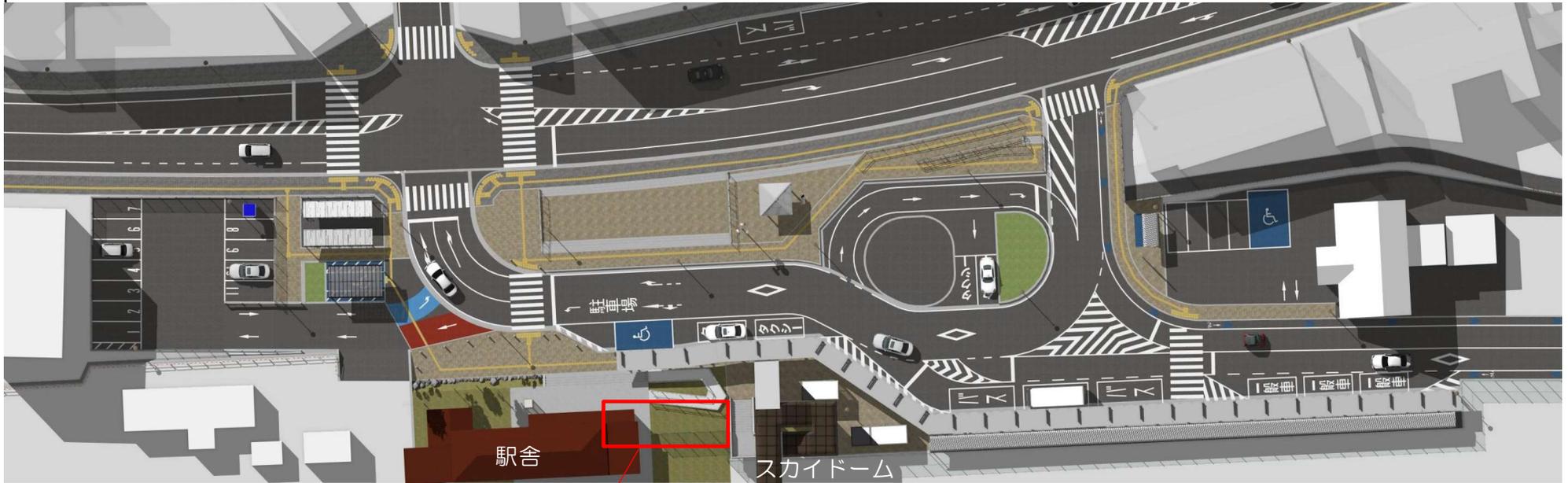
スカイドームのバリアフリー化



《整備イメージ》



駅前バリアフリートイレ



《整備イメージ》

